

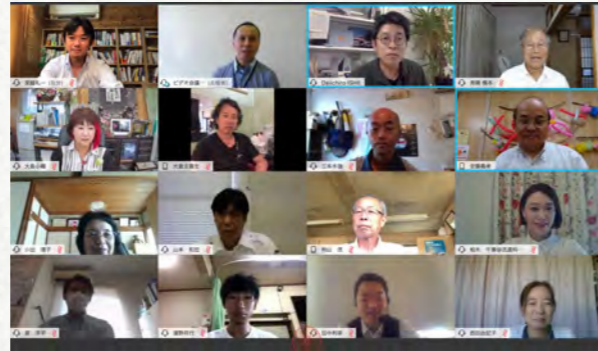
那須塩原駅周辺 まちづくりビジョン策定中

那須塩原駅周辺の30年後のあるべき姿、目指すべきまちづくりを描く「那須塩原駅周辺まちづくりビジョン」。市民参画のプロセスを大切に、皆さんのまちづくりに対する「夢」や「^{おも}想い」、有識者からの意見・提言を踏まえながら今年3月の策定に向けて取り組んでいます。今回は、策定に向けたこれまでの市民参画の取り組みの一部を紹介します。

▶問い合わせ 本那須塩原駅周辺整備室 ☎0287(62)9254



各グループに分かれて活発な議論を展開



Web会議形式で行われている市民懇談会



各グループで夢を語る

グループインタビューで「夢」を描く
 昨年11月28日、「那須塩原駅周辺のまちづくりに関するグループインタビュー」を東那須野公民館で開催しました。

当日は、年代や職業が異なる参加者13人が3つのグループに分かれ、宇都宮大学の石井准教授の進行の下、同大学の学生も交えて、駅周辺に活気やにぎわいを、楽しさを生み出す方法や人を呼び込む方法などを熱く、楽しく語り合いました。
 最後は各グループがその結果を発表。「日本一交通マナーの良い駅前を目指してはどうか」「駅周辺の駐車場を使ったドライブインシアターは面白いのでは」「駅前で歩行者天国のようなイベントを開催してはどうか」と

いったアイデアが出されました。さまざまみな市民参画を通じて聞き取った、「夢」や「^{おも}想い」の一つ一つを大切にしながら、これからのまちづくりを進めていきます。
 ※少人数のグループで司会役がテーマに沿って質問を行い、参加者が自由に意見を出し合いながら議論を深めていく方法。



立場は違えど想いは一緒

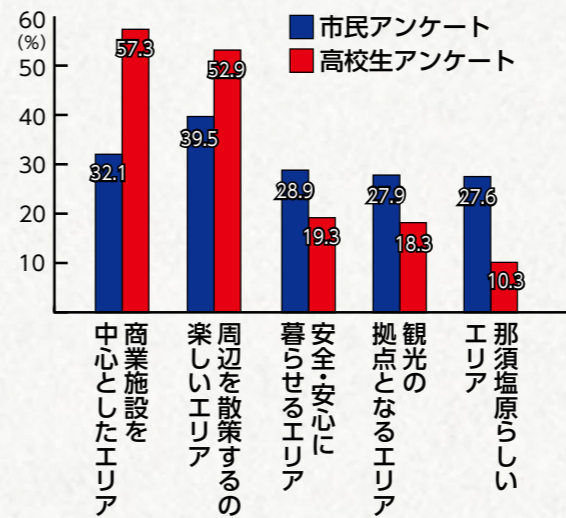
市民懇談会・オンラインワークショップで「^{おも}想い」を共有
 まちづくりビジョンを策定するために大切な市民参画。この役割を担うものの一つとして、「那須塩原駅周辺まちづくりビジョン市民懇談会」を設置しています。自治会やまちづくり、若者、子育て、観光や交通などさまざまな分野の15人で構成され、那須塩原駅周辺を魅力あふれるエリアにしたいという共通



駅周辺の現状と課題を整理

の想いを胸に、宇都宮大学地域デザイン科学部の石井大朗准教授を座長に、web会議を重ねています。
 また、昨年11月10日、「那須塩原駅周辺のまちづくりに関するワークショップ」をweb会議形式で開催しました。当日は市民6人が参加し、駅周辺の現状や課題を整理し、より良いエリアにするためにはどうしたらいいか、市民が描く夢を叶えるためには何が必要なのかを議論。「市の魅力の再確認とブランド力向上」や「景観や自然の維持と活用」「公共交通網の充実」「おもてなしのまちづくり」など、たくさんの意見やアイデアが出たワークショップとなりました。

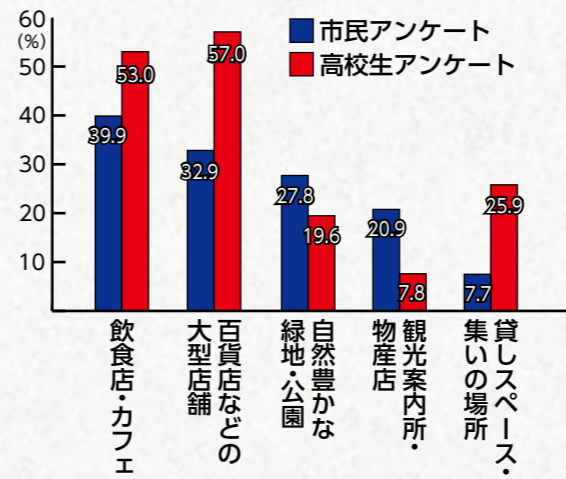
Q.どんなエリアになってほしいか



アンケートは無作為に抽出した市民と高校生に実施

アンケート調査で「夢」や「^{おも}想い」を聞き取り
 昨年9月から10月にかけて、無作為に抽出した市民2千人と、市の未来を担う高校生2470人を対象に、那須塩原駅周辺のまちづくりに対する「夢」や「^{おも}想い」を聞くための「アンケート調査」を実施しました。市民アンケートでは、1153人(回答率57.7%)から、高校生アンケートでは、940人(回答率38.0%)から回答があり

Q.どんな施設が必要か



ました。
 調査では、「現在の駅周辺に対する印象」や「駅周辺の将来像」「駅周辺に求める施設」などについて質問。いずれのアンケートにおいても、駅周辺に対して活気やにぎわい、楽しさを求める声が多数寄せられました。
 なお、調査結果は、市ホームページに掲載しています。



アンケート結果